

# 手洗いはどんな方法が効果的！？

熊本市立西里小学校 6年 前田 奈穂

## 1 研究の目的

梅雨時の食中毒や冬に流行するインフルエンザは、手洗いで予防できるといわれています。しかし、私は手洗いのことを面倒くさいし、必要ないものだと思っていました。

そこで、自分の手にどれくらいの菌が付いているのか、また手洗いの方法によって効果に違いがあるのかを調べてみることにしました。

## 2 研究の方法

(1) 外出から帰宅した後や勉強後の汚れた右手のひらをパームチェック（標準寒天培地）に5秒程度押し付け、落下菌が入らないようにふたをしてビニールに入れる。

(2) 次のア～カの洗浄後、右手のひら(1)同様に押し付ける。

方法 ア 除菌ウェットシートを2枚使用してふく。

イ 消毒用アルコールジェルを15秒間乾燥するまでよくすりこむ。

ウ 流水のみで洗い、キッチンペーパーでふく。

エ 石けんを使って約15秒間洗い、キッチンペーパーでふく。

オ 石けんを使って30秒以上洗い、キッチンペーパーでふく。

カ オと同様にした後、消毒用アルコールジェルで15秒間乾燥するまでよくすりこむ。

(3) エアコンの無い、室温28～34℃の部屋に24～48時間パームチェックを放置し、洗浄前と後の変化をパームチェック簡易判定表を使ってチェックする。

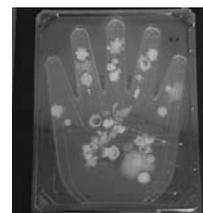
## 3 結果のまとめ

(1) 実際に手に菌が付着しているように見えなくても、たくさんの菌がついていることが分かった。家で勉強した後の手よりも外出から帰宅した後の手の方が汚れていた。

(2) しっかり洗浄したと思っても菌が落ちていなかった所は、手のひらの小指側、親指の第一関節、薬指の第二関節だった。

(3) 実験前、一番効果がない方法は「流水のみで洗う」だと思っていたが、「消毒用アルコールジェル」という結果となり驚いた。

(4) 石けんで30秒以上かけて洗うのが最も効果的だった。15秒間と30秒以上では全然効果が違い時間をかけて洗うことが大事だと分かった。



方法イ 帰宅後 → ジェル15秒後



方法オ 勉強後 → 石けん30秒後